

「ミツバチの快適な環境の確保」の管理対象

養蜂におけるアニマルウェルフェアの考え方 「5つの自由」

十分な蜜源の確保 水場の確保、給餌	➔ ① 飢えや渇きからの自由 (Freedom from Hunger and Thirst) 健康維持のために適切な食事と水を与えること
病害虫の防除 ダニ対策	➔ ② 痛み、負傷、病気からの自由 (Freedom from Pain, Injury, and Disease) 怪我や病気から守り、病気の場合には十分な獣医医療を施すこと
外敵の回避、防除 移動等のストレス軽減	➔ ③ 恐怖や抑圧からの自由 (Freedom from Fear and Distress) 過度なストレスとなる恐怖や抑圧を与えず、それから守ること 動物も痛みや苦痛を感じるという立場から肉体的な負担だけでなく精神的な負担もできる限り避けること
温度の維持、管理、騒音、 振動の回避	➔ ④ 不快からの自由 (Freedom from Discomfort) 温度、湿度、照度など、それぞれの動物にとって快適な環境を用意すること
蜂群の維持管理 巣箱の設置場所	➔ ⑤ 自然な行動をする自由 (Freedom from Express Normal Behavior) 各々の動物種の生態・習慣に従った自由な行動が行えるようにすること 群れて生活する動物は同様の仲間との存在が必要

「養蜂場経営管理」の管理対象

管理のための手順書の整理



責任者の配置

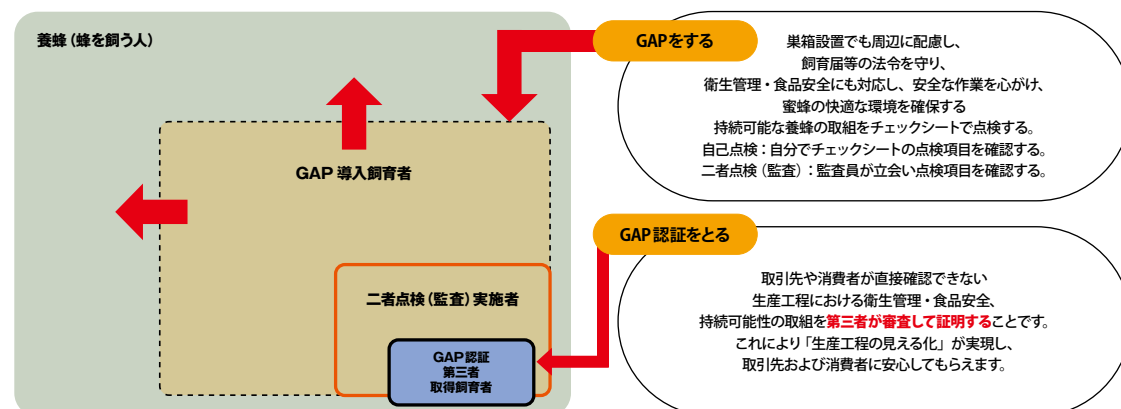
記録の作成と保管



- ・ミツバチ用医薬品の使用記録
- ・給餌の記録
- ・採蜜の記録等

教育訓練、内部点検の実施

GAP は実施するもの



発行●一般社団法人みつばち協会

〒104-0061 東京都中央区銀座 3-9-11 紙パルプ会館 銀座イニシアティブオフィス

TEL:03-6277-8000 Fax: 03-6277-8888

Mail: ginzainitiative@gmail.com http://honeybee.or.jp/wop/

*本事業は日本中央競馬会（JRA）畜産振興事業の助成により実施されます。

養蜂 GAP 導入の手引書は
こちらから閲覧できます。

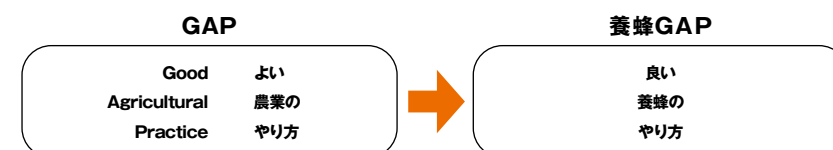


養蜂場から消費者に
安心・安全なハチミツを届ける



「養蜂GAP」について

養蜂GAPとは何か？ ➔ 養蜂において**衛生管理・食品安全、労働安全、環境保全等**の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みです。



〈解説〉養蜂場の持続性に向けた7つの点検項目



食品安全

生産工程を明確にし、食品安全の観点からリスク評価・対策に取り組んでいます。



環境保全

地球温暖化対策、生物多様性や周辺環境への配慮、地域社会との共生などに取り組んでいます。



労働安全

作業者の労働安全対策や労働事故の防止などに取り組んでいます。



蜜蜂の快適な環境確保

蜜蜂の快適性に配慮した飼養環境の改善に取り組んでいます。



蜜蜂の衛生

家畜伝染病の発生予防や動物用医薬品の適切な使用・管理、飼料の安全確保などに取り組んでいます。



養蜂場管理

責任者の配置、責任体制の見える化、養蜂具・設備機器等の点検・清掃等のルール化などに取り組んでいます。



人権の尊重

労働基準法等の法令遵守、差別の禁止、作業者の健康管理などに取り組んでいます。

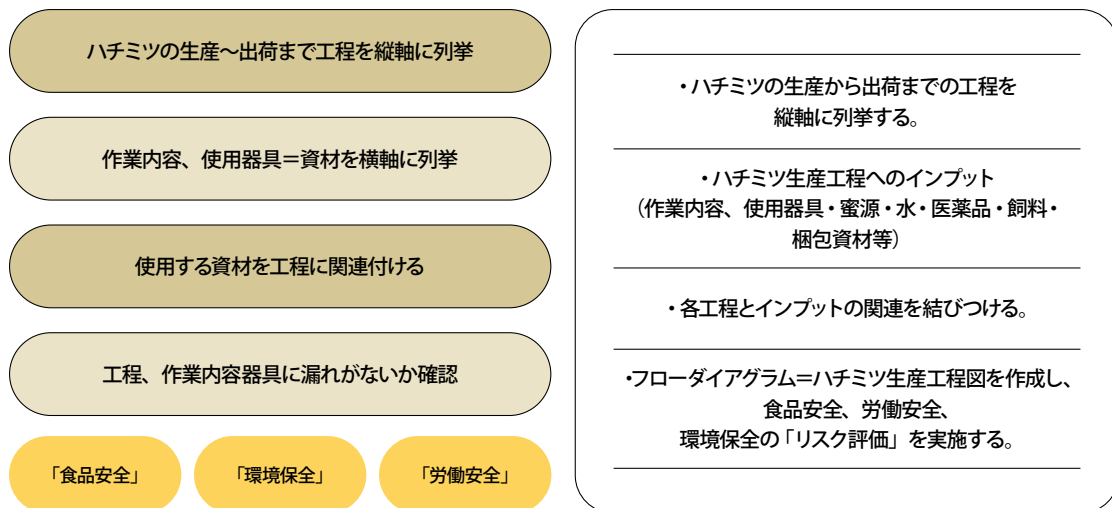


一般社団法人みつばち協会

「蜜蜂の衛生・食品安全」の管理対象

生物学的ハザード	・病原細菌 / 病原微生物（ボツリヌス菌） ・腐敗 / 変敗（糖度不足で発酵など） ・アレレルゲン（蕎麦の開花期など注意）	「ハチミツ」では、 どんなリスクがあるのか、 リスク評価しよう！
化学的ハザード	・農薬／抗生物質 ・ダニ駆除剤成分の残留 ・洗剤／施設使用薬剤 ・重金属 ・油脂酸化物 ・硝酸／シュウ酸 ・自然毒／生物産生毒素 ・カビ毒	放射性物質 農水省 「リスクプロファイル」 を参照する
物理的ハザード	・蜜蜂の足も一部など ・燻煙器の灰 / 粉塵 ・繊維組織（濾し布の繊維） ・施設由来の機器部品（蜜濾し器の網破損） ・ガラス（ビン破損） ・作業者由来の毛髪等	 西洋蜜蜂の屋外での採蜜の様子
各分野のリスク例		
出荷する「ハチミツ」にかかわるリスク		
食品安全	❑ 動物用医薬品、農薬・肥料・潤滑油・燃料等の汚染物質との接触 ❑ 有毒植物の蜜の混入 ❑ 放射性物質・重金属等の排除、除去できない物質による汚染 ❑ 病原性微生物・ウィルス・寄生虫等の病原生物の付着、増殖 ❑ ガラス・金属片・硬質プラスチック等の異物の混入 ❑ 腐敗・変敗・劣化 ❑ 保管温度帯・時間枠からの逸脱	
品質事故	❑ 表示違い ❑ 仕様違い品（蜜源・飼養場所等）の混入・誤出荷 ❑ 残留農薬違反などの法令違反 ❑ 不快異物（ビニール片や髪の毛、虫など）の混入 ❑ 発酵など消費者要求との齟齬	

ハチミツ生産の「フローダイアグラム」の作成



「環境保全」の管理対象 周囲とのトラブル……「良くない養蜂」では？

ミツバチの飼育の際に気をつけること ミツバチの飼育は周辺住民や他の飼育者とのトラブルが起こる可能性がある あるので注意が必要です。	
よくあるトラブル	
刺傷事故	ミツバチが人を刺すこともあるため、周辺の人には飼育のことを伝え、理解を得ておきましょう。特に、春から夏にかけては分蜂防止対を講じる等、適正な群数の維持に努める必要があります。
フンの被害	ハチのフンにより、周辺住民の洗濯物や車を汚してしまうことがあります。飼育場所の周辺には十分配慮しましょう。
スズメバチ	秋になるとミツバチを餌とするスズメバチが巣に飛来することがあります。スズメバチは攻撃性が強く、周辺の住民が刺されることがあるため大変危険です。
熊等の被害	熊による被害は、同じ地域で繰り返し発生し、被害を受けた地域での採蜜は困難となるだけでなく、周辺の住民の不安を招くので十分な対策を実施しましょう。

「労働安全」の管理対象

危険な場所	危険な作業	危険な機械資材	トラックによる深夜の運送	待受け巣箱の設置場所	害獣を呼び寄せる
リスク例					
❑ 危険な機械、器具、設備 ❑ 養蜂場・施設、移動経路、開放水路、高所、段差、斜面等の危険な場所 ❑ 防除資材の利用、肥料散布 ❑ 機械除草、物品や機械の積降し、重量物運搬、一人作業、長距離運転等の危険な作業 ❑ 高温多湿、寒暖差、騒音・振動、粉塵等の環境 ❑ 害獣（クマ、イノシシ）・昆虫（スズメバチ）・ダニ等の危険な生物					

「食品安全」は除去可能
しかし・・・
「労働事故」＝回復困難

「人権の尊重」の管理対象 作業者の人権への配慮

- ・適切な労務契約・管理
- ・労働者との意見交換
- ・研修生等の受入条件の遵守

